

代表質問から

公文書管理

対応していく。

問 林地開発行為における許可条件違反があつた鴨川市のメガソーラー計画に対しても、県はどうのように対応していくのか。

答 この計画については、令和7年10月28日に現地調査を行ったところ、林地開発行為の許可条件に違反する残置森林の伐採が確認されたため、工事の一時中止などを求める行政指導を行った。

知事も、11月5日にヘリコプターから現地の状況を視察し、急峻な地形の中で大規模な切り土や盛り土を行う事業であることを確認し、改めて災害防止や環境保全等の必要性について認識した。

当該計画は、太陽光発電施設の設置を目的とする県内最大規模の林地開発行為であることから、さまざまな角度から技術的な助言をいたぐため、土木工学や、森林環境、再生可能エネルギー、行政法、会計などの専門家からなる有識者会議を設置し、11月18日に第1回会議を開催した。

また、現在、伐採された残置森林の復旧計画の提出を指導しているところだが、地域の安全を確保するため、事業者に対し、伐採木の片付けや土砂流出防止柵の設置などについて指導し、11月27日から作業が開始されている。県としては、定期巡回の回数を増やし、現地確認を強化する他、引き続き有識者からご意見を伺うとともに、国とも密接に連携し、災害防止や環境保全等の幅広い観点から、部局横断的にこの事業についてしっかりと

問 県は公文書管理条例の制定について、どのように考えているのか。

答 県の公文書については、行政文書管理規則等に基づき、適正な管理に努めてきたところだが、昨今の公文書に対する社会的関心の高まりや、業務のデジタル化の急速な進展を踏まえ、県の公文書管理のあり方について、府内検討を行ってきた。

これまでの検討の中で、県の重要な政策決定の過程や活動、歴史的事実などが記された公文書は、行政内部の事務処理の手段にとどまらず、政策評価や後世の時代検証を行う上で貴重な基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

県では、各事業所の受注機会の拡大を図るため、企業や自治体等からの発注に対応する共同受注窓口の設置や、事業所の提供可能なサービスをウェブ上で紹介する「チャレンジド・インフォ・千葉」の活用などにより、官公需の促進を図っている他、農福連携マルシェなどの合同販売会の開催により、商品の認知度を高める取り組みなどを行っている。

今後は、デジタル化時代における公文書の適切な管理と透明性の確保に向けて、見直しの方針を取りまとめた上で、有識者会議を立ち上げ、公文書管理についての県の基本的な考え方を示す条例の制定に向けて、必要な検討を進めていく。

減するための支援を継続的に行なうとともに、さまざまなお機会を活用して、国に制度の充実を要望している。

令和7年11月21日に決定された国の総合経済対策においては、令和8年度に、診療報酬・介護報酬について、賃上げ等を踏まえた改定を行うことや、医療機関や介護事業所の経営改善等につながる緊急的な支援を行うことが明らかとなつたことから、県としては、今後示される国が必要な医療や介護サービスを適時適切に受けられる体制を、引き続き確保していく。

問 障害者の福祉的就労の支援について、県はどうのよう取り組んでいるのか。

答 障害のある方が地域で自立した生活を送り、社会参加・社会貢献を果たすためには、その基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

県では、各事業所の受注機会の拡大を図るため、企業や自治体等からの発注に対応する共同受注窓口の設置や、事業所の提供可能なサービスをウェブ上で紹介する「チャレンジド・インフォ・千葉」の活用などにより、官公需の促進を図っている他、農福連携マルシェなどの合同販売会の開催により、商品の認知度を高める取り組みなどを行っている。

今後は、デジタル化時代における公文書の適切な管理と透明性の確保に向けて、見直しの方針を取りまとめた上で、有識者会議を立ち上げ、公文書管理についての県の基本的な考え方を示す条例の制定に向けて、必要な検討を進めていく。

また、学校における心停止の多さは、体育の授業や部活動などの運動中に発生していることから、運動場や体育館のそばなど、発生リスクの高い場所から遠く離れたところまで、発生リスクを考慮することが求められている。

県教育委員会としては、人命を救う可能性を高めるため、引き続き、設置場所の周知や、緊急教職員、生徒に対する講習会を実施等を進めるとともに、新たに校舎外にAEDを追加設置することを検討していく。

問 インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生状況と最近のフィッシングの手口はどうのものか。

答 令和7年10月末現在における県内の発生状況は、暫定値で認知件数が109件、被害額は約1億1000万円であり、前年同期に比べ減少しているものの、全国的には増加傾向にある。

最近の手口だが、犯人が金融機関担当者をかたり企業に電話をかけ、フィッシングメールを送信し、電話で指示しながら偽サイトに誘導する、いわゆる「ボイスフィッシング」なども発生している。

被害防止対策については、SNS等の各種広報媒体を通じたD・パスワードの管理や、多要素認証導入などの働きかけの他、企業や学校などに出向いて行う「ネット安全教室」を10月末現在で約740回実施し、その中で最新の手口の紹介や被害に遭わない対策について周知している。

また、学校における心停止の多くは、体育の授業や部活動などの運動中に発生していることから、運動場や体育館のそばなど、発生リスクの高い場所から遠く離れたところまで、発生リスクを考慮することが求められている。

今後、本事業を効果的に運用し、技術系人材の確保・定着を図っていくためには、学生等に広く事業を知つてもらうことが重要であることから、受験案内への掲載の他、職員採用セミナーや学校訪問、現場見学会等での紹介など、あらゆる機会を捉えて事業の周知を行っていく。

問 交番・駐在所再編整備に係る不正送金事犯の発生状況と最近のフィッシングの手口はどうのものか。

答 令和7年10月末現在における県内の発生状況は、暫定値で認知件数が109件、被害額は約1億1000万円であり、前年同期に比べ減少しているものの、全国的には増加傾向にある。

最近の手口だが、犯人が金融機関担当者をかたり企業に電話をかけ、フィッシングメールを送信し、電話で指示しながら偽サイトに誘導する、いわゆる「ボイスフィッシング」なども発生している。

被害防止対策については、SNS等の各種広報媒体を通じたD・パスワードの管理や、多要素認証導入などの働きかけの他、企業や学校などに出向いて行う「ネット安全教室」を10月末現在で約740回実施し、その中で最新の手口の紹介や被害に遭わない対策について周知している。

また、学校における心停止の多くは、体育の授業や部活動などの運動中に発生していることから、運動場や体育館のそばなど、発生リスクの高い場所から遠く離れたところまで、発生リスクを考慮することが求められている。

今後、本事業を効果的に運用し、技術系人材の確保・定着を図つていくためには、学生等に広く事業を知つてもらうことが重要であることから、受験案内への掲載の他、職員採用セミナーや学校訪問、現場見学会等での紹介など、あらゆる機会を捉えて事業の周知を行っていく。

問 メガソーラー

答 この計画については、令和7年10月28日に現地調査を行つたところ、林地開発行為の許可条件に違反する残置森林の伐採が確認されたため、工事の一時中止などを求める行政指導を行つた。

知事も、11月5日にヘリコプターから現地の状況を視察し、急峻な地形の中で大規模な切り土や盛り土を行つ事業であることを確認し、改めて災害防止や環境保全等の必要性について認識した。

当該計画は、太陽光発電施設の設置を目的とする県内最大規模の林地開発行為であることから、さまざまな角度から技術的な助言をいたぐため、土木工学や、森林環境、再生可能エネルギー、行政法、会計などの専門家からなる有識者会議を設置し、11月18日に第1回会議を開催した。

また、現在、伐採された残置森林の復旧計画の提出を指導しているところだが、地域の安全を確保するため、事業者に対し、伐採木の片付けや土砂流出防止柵の設置などについて指導し、11月27日から作業が開始されている。県としては、定期巡回の回数を増やし、現地確認を強化する他、引き続き有識者からご意見を伺うとともに、国とも密接に連携し、災害防止や環境保全等の幅広い観点から、部局横断的にこの事業についてしっかりと

問 県は公文書管理条例の制定について、どのように考えているのか。

答 県の公文書については、行政文書管理規則等に基づき、適正な管理に努めてきたところだが、昨今の公文書に対する社会的関心の高まりや、業務のデジタル化の急速な進展を踏まえ、県の公文書管理のあり方について、府内検討を行つてきた。

これまでの検討の中で、県の重要な政策決定の過程や活動、歴史的事実などが記された公文書は、行政内部の事務処理の手段にとどまらず、政策評価や後世の時代検証を行う上で貴重な基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

今後は、デジタル化時代における公文書の適切な管理と透明性の確保に向けて、見直しの方針を取りまとめた上で、有識者会議を立ち上げ、公文書管理についての県の基本的な考え方を示す条例の制定に向けて、必要な検討を進めていく。

また、被害を防止するため、どのような対策を実施しているのか。

答 障害のある方が地域で自立した生活を送り、社会参加・社会貢献を果たすためには、その基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

県では、各事業所の受注機会の拡大を図るため、企業や自治体等からの発注に対応する共同受注窓口の設置や、事業所の提供可能なサービスをウェブ上で紹介する「チャレンジド・インフォ・千葉」の活用などにより、官公需の促進を図っている他、農福連携マルシェなどの合同販売会の開催により、商品の認知度を高める取り組みなどを行っている。

今後は、デジタル化時代における公文書の適切な管理と透明性の確保に向けて、見直しの方針を取りまとめた上で、有識者会議を立ち上げ、公文書管理についての県の基本的な考え方を示す条例の制定に向けて、必要な検討を進めていく。

問 障害者の福祉的就労の支援について、県はどうのよう取り組んでいるのか。

答 障害のある方が地域で自立した生活を送り、社会参加・社会貢献を果たすためには、その基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

県では、各事業所の受注機会の拡大を図るため、企業や自治体等からの発注に対応する共同受注窓口の設置や、事業所の提供可能なサービスをウェブ上で紹介する「チャレンジド・インフォ・千葉」の活用などにより、官公需の促進を図っている他、農福連携マルシェなどの合同販売会の開催により、商品の認知度を高める取り組みなどを行っている。

今後は、デジタル化時代における公文書の適切な管理と透明性の確保に向けて、見直しの方針を取りまとめた上で、有識者会議を立ち上げ、公文書管理についての県の基本的な考え方を示す条例の制定に向けて、必要な検討を進めていく。

また、学校における心停止の多さは、体育の授業や部活動などの運動中に発生していることから、運動場や体育館のそばなど、発生リスクの高い場所から遠く離れたところまで、発生リスクを考慮することが求められている。

県教育委員会としては、人命を救う可能性を高めるため、引き続き、設置場所の周知や、緊急教職員、生徒に対する講習会を実施等を進めるとともに、新たに校舎外にAEDを追加設置することを検討していく。

問 インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生状況と最近のフィッシングの手口はどうのものか。

答 令和7年10月末現在における県内の発生状況は、暫定値で認知件数が109件、被害額は約1億1000万円であり、前年同期に比べ減少しているものの、全国的には増加傾向にある。

最近の手口だが、犯人が金融機関担当者をかたり企業に電話をかけ、フィッシングメールを送信し、電話で指示しながら偽サイトに誘導する、いわゆる「ボイスフィッシング」なども発生している。

被害防止対策については、SNS等の各種広報媒体を通じたD・パスワードの管理や、多要素認証導入などの働きかけの他、企業や学校などに出向いて行う「ネット安全教室」を10月末現在で約740回実施し、その中で最新の手口の紹介や被害に遭わない対策について周知している。

また、学校における心停止の多くは、体育の授業や部活動などの運動中に発生していることから、運動場や体育館のそばなど、発生リスクの高い場所から遠く離れたところまで、発生リスクを考慮することが求められている。

今後、本事業を効果的に運用し、技術系人材の確保・定着を図つていくためには、学生等に広く事業を知つてもらうことが重要であることから、受験案内への掲載の他、職員採用セミナーや学校訪問、現場見学会等での紹介など、あらゆる機会を捉えて事業の周知を行っていく。

問 メガソーラー

答 この計画については、令和7年10月28日に現地調査を行つたところ、林地開発行為の許可条件に違反する残置森林の伐採が確認されたため、工事の一時中止などを求める行政指導を行つた。

知事も、11月5日にヘリコプターから現地の状況を視察し、急峻な地形の中で大規模な切り土や盛り土を行つ事業であることを確認し、改めて災害防止や環境保全等の必要性について認識した。

当該計画は、太陽光発電施設の設置を目的とする県内最大規模の林地開発行為であることから、さまざまな角度から技術的な助言をいたぐため、土木工学や、森林環境、再生可能エネルギー、行政法、会計などの専門家からなる有識者会議を設置し、11月18日に第1回会議を開催した。

また、現在、伐採された残置森林の復旧計画の提出を指導しているところだが、地域の安全を確保するため、事業者に対し、伐採木の片付けや土砂流出防止柵の設置などについて指導し、11月27日から作業が開始されている。県としては、定期巡回の回数を増やし、現地確認を強化する他、引き続き有識者からご意見を伺うとともに、国とも密接に連携し、災害防止や環境保全等の幅広い観点から、部局横断的にこの事業についてしっかりと

問 県は公文書管理条例の制定について、どのように考えているのか。

答 県の公文書については、行政文書管理規則等に基づき、適正な管理に努めてきたところだが、昨今の公文書に対する社会的関心の高まりや、業務のデジタル化の急速な進展を踏まえ、県の公文書管理のあり方について、府内検討を行つてきた。

これまでの検討の中で、県の重要な政策決定の過程や活動、歴史的事実などが記された公文書は、行政内部の事務処理の手段にとどまらず、政策評価や後世の時代検証を行う上で貴重な基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

今後は、デジタル化時代における公文書の適切な管理と透明性の確保に向けて、見直しの方針を取りまとめた上で、有識者会議を立ち上げ、公文書管理についての県の基本的な考え方を示す条例の制定に向けて、必要な検討を進めていく。

また、被害を防止するため、どのような対策を実施しているのか。

答 障害のある方が地域で自立した生活を送り、社会参加・社会貢献を果たすためには、その基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

県では、各事業所の受注機会の拡大を図るため、企業や自治体等からの発注に対応する共同受注窓口の設置や、事業所の提供可能なサービスをウェブ上で紹介する「チャレンジド・インフォ・千葉」の活用などにより、官公需の促進を図っている他、農福連携マルシェなどの合同販売会の開催により、商品の認知度を高める取り組みなどを行っている。

今後は、デジタル化時代における公文書の適切な管理と透明性の確保に向けて、見直しの方針を取りまとめた上で、有識者会議を立ち上げ、公文書管理についての県の基本的な考え方を示す条例の制定に向けて、必要な検討を進めていく。

問 障害者の福祉的就労の支援について、県はどうのよう取り組んでいるのか。

答 障害のある方が地域で自立した生活を送り、社会参加・社会貢献を果たすためには、その基盤となる収入を増やすことが重要であり、福祉的就労の場である就労継続支援事業所で、利用者に支払う工賃や賃金の水準が向上するよう事業所を支援していくことが必要である。

県では、各事業所の受注機会の拡大を図るため、企業や自治体等からの発注に対応する共同受注窓口の設置や、事業所の提供可能なサービスをウェブ上で紹介する「チャレンジド・インフォ・千葉」の

各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 内閣府のモデル事業である「避難生活支援リーダー・サポート研修」の実施を踏まえて、避難所の生活環境の向上にどのように取り組んでいくのか。

答 令和7年度は当該研修を富津市で開催したところだが、令和8年度以降も本県で開催されるよう国に働きかけるとともに、他の市町村や関係団体等にも受講の機会を広げ、県内各地で避難所運営のリーダーやサポートとなる人材を育成していくことで、被災者の心身の健康維持の観点からも、避難所における生活環境のより一層の向上を進めていく。

総合企画企業常任委員会

問 水道料金の改定が必要になった理由について、改めて確認したい。

答 県営水道では、浄・給水場の多くが築後50年から60年以上経過していることや、首都直下地震などの自然災害の危険性が高まる中、これまで以上に管路や施設の更新・耐震化について、スピード感を持つて進める必要がある。また、昨今の物価高騰に伴いさまざまな経費が増加しており、企業債の活用やあらゆる経費の節減努力に加え、一般会計からの繰り入れについて再開し、上限まで活動するごとにどうしても、収支の赤字や資金不足が見込まれる。管路や施設の更新・耐震化などを着実に実施し、日常生活や経済活動を支える重要なインフラである水道を維持していくためには、

水道料金の引き上げが避けられないと考えたところである。

健康福祉常任委員会

問 災害薬事コーディネーターは、主にどのような方が委嘱されているのか。

答 また、災害薬事コーディネーターは、災害時、具体的にどのような役割を果たすのか。

答 今般委嘱した災害薬事コーディネーターは、主に県内各地域の病院または薬局に勤務されており、千葉県薬剤師会および千葉県病院薬剤師会から適任者の推薦をいただいている。

また、その役割としては、災害時、被災地の災害対策本部等において、医薬品の需給情報などを把握するとともに、薬剤師や、災害対応医薬品供給車両、いわゆるモバイルファーマシーの派遣調整、医薬品の仕分け管理や、救援活動に当たる医師に対して代替薬を提案するなど、災害支援活動に貢献するなどが期待されている。

内での選定委員会において、候補者数等を公表し、手続きの透明性を確保している。

商工労働常任委員会

問 スタートアップなどの企業の成長を実現するための課題は何か。

また、その課題を踏まえて、具体的にどのような支援を進めていくのか。

答 スタートアップなどの企業は、成長可能性の高い企業である一方で、社会的に高い信用力を持つてないため、必要な資金の確保や有益な人的ネットワークが不足する等の課題を抱えている。

このため、安価な研究室の提供や投資家とのマッチングなど資金面での支援、交流会の開催による人的ネットワーク構築の支援などを取り組んでいる。

答 道路や橋梁の詳細設計を実施することも、境界立ち会いを行なうなど、用地取得に向けた準備を進めさせていただいている。

文教常任委員会

問 今回の教員の待遇改善により、教員不足の解消につながると考えているのか。

答 初任給を含めた教員の給与水準が引き上げられることで、給与上の待遇を理由に志願していない教員の志願者確保に努めています。

また、教員の業務量管理・健康確保措置実施計画の策定が義務付けられたことを受け、本県においても、「学校における働き方改革推進プラン」を踏まえ、教員の働きやすさと働きがいを両立した働き方改革を一層推進することで、教員の志願者確保に努めさせていただきます。



千葉県議会公式X・フェイスブック

県議会の情報を随時配信していますので、
ちば県議会だよりと併せて、ぜひご覧ください。

X

フェイスブック



常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

健康福祉常任委員会

調査日 令和7年12月10日(水)

調査先 作草部保育園(千葉市稻毛区)、チャコ稻毛園(千葉市稻毛区)

認可保育所と

小規模保育事業所の現状

作草部保育園およびチャコ稻毛園を視察し、それぞれの保育環境や運営の状況について調査しました。



保育所の運営状況について説明を受ける委員

環境生活警察常任委員会

調査日 令和7年12月10日(水)

調査先 千葉県警察本部警備部第二機動隊(千葉市稻毛区)

警備部第二機動隊の活動状況

警察の集団警備力の中核として、テロ対策や災害発生時等、さまざまな事案に対応する第二機動隊の活動状況について説明を受けた後、救出救助部隊および水難救助部隊の訓練を視察しました。



第二機動隊の組織や活動内容について説明を受ける委員

農林水産常任委員会

調査日 令和7年12月11日(木)

調査先 銚子市漁協第3卸売市場・銚子漁港・千葉県漁連銚子水産加工センター(銚子市)

銚子漁港と市場の一体的な整備と 県産水産物の付加価値向上について

銚子漁港の整備状況と高度衛生管理体制の第3卸売市場の電子入札システムおよび銚子水産加工センターの最新設備と衛生管理の強化や加工品開発の取り組みについて調査しました。



銚子市漁協第3卸売市場の施設を視察する委員

文教常任委員会

調査日 令和7年12月12日(金)

調査先 千葉県立生浜高等学校(千葉市中央区)

県立高等学校における 「外国につながる生徒」への取り組み

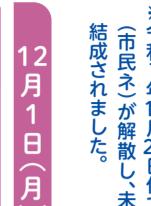
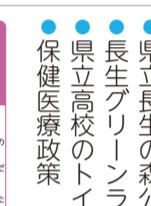
千葉県立生浜高等学校において、日本語の指導が必要な生徒に対する支援や、学校における調査・研究について説明を受け、その後、授業および施設を視察しました。



学校での取り組みについて説明を受ける委員

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。
※令和7年12月25日付で市民ネットワーク
(市民ねが解散し、未来らば(未来ち)が
結成されました。

<p>水を張らない節水型乾田直営 下総基地のP.F.A.S問題 印旛広域水道の負担軽減 鴨川メガソーラー</p>	 <p>川口 絵未 議員</p> <p>佐倉市・印旛郡酒々井町</p>	 <p>岩井 泰憲 議員</p> <p>印西市・印旛郡栄町</p>	 <p>篠田 哲弥 議員</p> <p>松戸市</p>	 <p>野田市周辺の道路問題 県立学校の老朽化対策 水害時における災害対応 環境にやさしい農業</p> <p>野田市</p>	 <p>木名瀬 訓光 議員</p> <p>木名瀬訓光議員</p>
					
<p>生物多様性/ワシヘルス推進 小児医療/医療と介護の連携 医療的ケアが必要な方への支援 高校内居場所カブエ</p>	 <p>入江 晶子 議員</p> <p>佐倉市・印旛郡酒々井町</p>	 <p>千葉港 繩文貢塚</p> <p>千葉港</p>	 <p>宍倉 登 議員</p> <p>柏市</p>	 <p>山下 洋輔 議員</p> <p>市川市</p>	 <p>浅野 ふみ子 議員</p> <p>銚子市沖洋上風力発電 名洗港の整備 全国豊かな海づくり大会</p>
					
<p>東葉高速鉄道 交通安全対策 防災対策 スポーツ振興</p>	 <p>茂呂 剛 議員</p> <p>八千代市</p>	 <p>松澤 武人 議員</p> <p>鎌ヶ谷市</p>	 <p>山本 義一 議員</p> <p>八街市</p>	 <p>野田 剛彦 議員</p> <p>船橋市</p>	 <p>田畑 毅 議員</p> <p>茂原市</p>
					
<p>水道料金 AEDの使用 平和への取り組み 梨の販売促進</p>	 <p>プリティ 長嶋 議員</p> <p>市川市</p>	 <p>伊藤 寛 議員</p> <p>習志野市</p>	 <p>佐倉市 印旛郡酒々井町 企業誘致</p> <p>佐倉市・印旛郡酒々井町</p>	 <p>伊藤 昌弘 議員</p> <p>八千代市</p>	 <p>秋葉 就一 議員</p> <p>成田市</p>
					

12月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和7年度12月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の47議案の他、報告1件です。

◎主な議案の概要

最初に議案第1号から議案第9号までの9議案は、一般会計および特別会計の補正予算案です。

今回の補正予算は、人事委員会勧告に基づく給与改定を行うため人件費を増額するもので、一般会計の補正予算の規模は、161億1,900万円となります。

この他、事業の早期執行を図るために債務負担行為の設定や、適正な工期を確保するための繰越明許費の設定などを行います。

次に、議案第10号から議案第21号までの12議案は、条例の一部改正に係るものです。

また、議案第22号から議案第27号の6議案は、県立学校の長寿命化対策工事や、県立図書館と県文書館の複合施設の整備などに係る契約を締結するため、議案第28号から議案第30号の3



議案は、インフレスライド条項の適用により工事請負の契約金額を変更するため、議案第31号は、中小企業の再生支援を目的とした復興ファンドの清算に伴い、県の貸付債権の一部を放棄するため、議案第34号から議案第47号の14議案は、公の施設の指定管理者を指定するため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

この他、海外出張について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ

県内水道問題
自治体病院の経営と県内医療体制
九十九里沖洋上風力発電とCCS
障がい者と文化・スポーツ施設



大網白里市

令和8年2月定例県議会 会期および議事・委員会予定

月 日	議事・委員会予定	開議時間
2月10日(火)	開会	TV  午前10時
17日(火)	質疑並びに一般質問	TV  //
18日(水)		TV  //
19日(木)		TV  //
20日(金)		TV  //
24日(火)		TV  //
25日(水)		TV  //
26日(木)		TV  //
3月 2日(月)	予算委員会	TV  //
3日(火)		TV  //
4日(水)		TV  //
5日(木)	常任委員会(環境生活警察・農林水産)	TV  //
6日(金)	(総務防災・国土整備)	TV  //
9日(月)	(総合企画企業・文教)	TV  //
10日(火)	(健康福祉・商工労働)	TV  //
13日(金)	閉会	TV  午後1時

※本案はおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。
※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV …テレビでの生放送を予定しております。

□ …パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

千葉県議会ホームページ

県議会情報を探してます。
ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介 ○傍聴のご案内
- インターネット中継(ライブ・録画)
本会議および予算委員会(過去4年分視聴可)
- 会議録検索 ○会議の概要
- 議会図書室の利用案内

(ホームページアドレス)
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>



マチイロ



アプリ「マチイロ」で
「ちば県議会だより」を
配信しています。